

Data & Information

入試ハンドブック 2023

Japanese Red Cross College of Nursing
GRADUATE SCHOOL

日本赤十字看護大学 大学院



目次

2023年度入学者選抜試験日程	1
2023年度入学者選抜試験概要	
修士課程【看護学専攻】	2
修士課程【国際保健助産学専攻】	3
修士課程個別入学資格審査	4
博士後期課程【看護学専攻】	4
入試結果	5
Information	
I. 学生募集要項・過去問題について	5
II. 大学院説明会について（オンライン開催）	6
III. 研究指導教員の選択と事前相談について	6
学費	7
奨学金制度	8
Q&A	9

2023年度 入学者選抜試験日程

試験名	課程	専攻	出願期間 ※1 最終日の消印有効	試験日	合格発表	手続期間 ※1 最終日の消印有効
8月入試	修士課程	看護学専攻	2022年 7月15日(金)～ 7月28日(木)	8月24日(水)	8月31日(水)	9月1日(木)～ 9月8日(木)
		国際保健助産学専攻				
	博士後期課程	看護学専攻				
12月入試	修士課程	看護学専攻	2022年 11月7日(月)～ 11月15日(火)	12月10日(土)	12月15日(木)	12月16日(金)～ 12月23日(金)
		国際保健助産学専攻				
	博士後期課程	看護学専攻				
3月入試	修士課程	看護学専攻	※2	2023年 3月1日(水)	※2	※2
		国際保健助産学専攻				
	博士後期課程	看護学専攻				

※1 8月入試で定員に達した場合は、12月以降の入試を実施しないことがあります。

※2 追って公表します。

個別入学 資格審査	修士課程	看護学専攻	2022年 6月6日(月)～ 6月14日(火)	6月22日(水)	各審査日から 1週間程度	—
		国際保健助産学専攻	2022年 10月3日(月)～ 10月11日(火)	10月19日(水)		
			2022年 11月28日(月)～ 12月6日(火)	12月14日(水)		

検定料と入学金の減免について

次の条件に該当する場合は、検定料と入学金を減免いたします。

対象者	条件	内容
本学の在学生・卒業生	本学を卒業(卒業見込)し、合格した場合に入学を確約できる方	検定料半額(4万円→2万円) 入学金半額(40万円→20万円)
赤十字・実習施設に所属する職員	出願時に、日本赤十字社各施設・日本赤十字学園構成6大学・前年度の本学実習施設のいずれかに所属する専任職員 ※修士課程に出願する場合のみ適用	検定料半額(4万円→2万円) 入学金1/4免除(40万円→30万円)

2023年度入学者選抜試験概要

修士課程【看護学専攻】 第2希望領域に出願が可能です。

定員 32名

領域

基礎看護学、がん看護学、小児看護学、成人看護学（慢性看護学／クリティカルケア看護学）、老年看護学、精神保健看護学、地域看護学、看護教育学、看護管理学、国際・災害看護学

※8月入試で定員に達した場合は、12月以降の入試を実施しないことがあります。

アドミッション・ポリシー（抜粋）

本専攻では、幅広い視点で看護の現象を捉え、人々の尊厳と権利を尊重した高い倫理観とともに、高度な看護実践能力や基礎的研究能力のもと、様々な課題を探究することで看護学の発展と人々の健康に貢献できる看護専門職を育成することを目指しています。そのために、次のような学生を求めます。

1. 看護をはじめとする実践で得た体験を大切に、看護学の探究を志す人
2. 赤十字の理念である人道（ヒューマニティ）に共感し、一人ひとりを大切に、人々の尊厳を守る実践・教育・研究を志す人
3. 自らの意見をもち、かつ柔軟に他者の意見に耳を傾けることのできる人
4. 論理的にものごとを考え課題を探究する基礎的な力を有している人

修士課程の基本出願資格（抜粋）（見込・予定含む）

- ・大学を卒業した者
- ・大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ・外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ・文部科学大臣の指定した者
- ・指定された専修学校の専門課程を修了した者
- ・本学大学院において個別の入学資格審査により認められた22歳以上の者

※出願資格は必ず学生募集要項にて確認してください。

※アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは大学案内や本学ホームページをご覧ください。

入試区分

	I. 対象	II. 審査方法	III. 基本出願資格に加え必要な条件
[一般]	看護学専門領域において、実践者および教育・研究者をめざす者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、看護専門科目における学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。なお、学習に必要な英語の能力については、日本英語検定、TOEIC、TOEFL、国際連合公用語英語検定試験等のいずれかの公式スコアによって審査します。	日本英語検定、TOEIC、TOEFL、国際連合公用語英語検定試験等のスコア提出
[社会人]	看護学専門領域において、実践者および教育・研究者をめざす看護職として3年以上実務経験のある者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、看護専門科目における学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。	看護職として3年以上の実務経験を有する者
[実践コース]	看護職として5年以上の実務経験のある看護教員および看護管理者、現任教員教育担当者、幹部教員や認定看護管理者をめざす者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、看護専門科目における学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。	看護師・保健師・助産師のいずれかの資格を有し、5年以上の実務経験を有する者

試験科目

- ・看護専門科目
- ・面接
- ・書類選考

修士課程【国際保健助産学専攻】

定員 15名

アドミッション・ポリシー（抜粋）

本専攻では、幅広い視点で国際保健助産の現象を捉え、人々の尊厳と権利を尊重した高い倫理観とともに、高度な助産実践能力や基礎的研究能力のもと、様々な課題を探究することで国際保健助産学の発展と人々の健康に貢献できる専門職を育成することを目指しています。そのために、次のような学生を求めます。

1. 看護をはじめとする実践で得た体験を大切に、看護学の探究を志す人
2. 赤十字の理念である人道（ヒューマニティ）に共感し、一人ひとりを大切に、人々の尊厳を守ることを志す人
3. 自らの意見を持ち、かつ柔軟に他者の意見に耳を傾けることのできる人
4. 論理的にものごとを考へ課題を探究する基礎的な力を有している人
5. 世界的視野からものごとを考えることを志す人
6. 専門職者として人間形成を志す人

※出願資格は必ず学生募集要項にて確認してください。

※アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは大学案内や本学ホームページをご覧ください。

入試区分

研究コース

	I. 対象	II. 審査方法	III. 基本出願資格に加え必要な条件
[一般]	国内外の助産学・母性看護学あるいは母子保健学の領域において、実践者および教育・研究者をめざす、看護免許取得もしくは取得見込みの者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、母性看護学に関する学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。なお、学習に必要な英語の能力については、日本英語検定、TOEIC、TOEFL、国際連合公用語英語検定試験等のいずれかの公式スコアによって審査します。	日本英語検定、TOEIC、TOEFL、国際連合公用語英語検定試験等のスコア提出
[社会人]	国内外の助産学・母性看護学あるいは母子保健学の領域において、実践者および教育・研究者をめざす看護職として3年以上実務経験のある者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、母性看護学に関する学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。	看護師・保健師・助産師のいずれかの資格を有し、看護職として3年以上の実務経験を有する者

実践コース

	I. 対象	II. 審査方法	III. 基本出願資格に加え必要な条件
[一般]	助産師資格取得に意欲のある看護免許取得もしくは取得見込みの者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、母性看護学に関する学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。	看護免許を取得もしくは取得見込みの者（※1）
[社会人]	助産師資格取得に意欲のある看護職として3年以上実務経験のある者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、母性看護学に関する学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。	看護免許を有し、看護職として3年以上の実務経験を有する者

※1 実践コースは入学時に看護免許が必要です。看護師国家試験に不合格の場合、入学許可が取り消されます。

※2 本学在学生を対象とした学内推薦入試も実施しています。詳細は入試・広報係にお問い合わせください。

試験科目

- ・看護専門科目
- ・面接
- ・書類選考

修士課程個別入学資格審査

本学大学院看護学研究科修士課程へ入学を志願する者のうち、出願資格「本学大学院において、個別の入学資格により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2023年3月31日までに22歳に達する者」により出願する者について、入学資格審査を実施します。

I. 主な出願資格	II. 試験科目
次の(1)～(3)のすべてを満たしている者 (1)高等学校を卒業した者 (2)看護系短期大学、専修学校、各種学校、高等学校専攻科の卒業生で、看護師資格を有している者 (3)看護職として5年以上の実務経験がある者 ※(2)は国内の看護師養成機関に限る。 [免除事項] (1)～(3)のすべてに該当し、下記のいずれかの条件を満たした者は、個別入学資格審査を免除する。 ・保健師助産師看護師学校養成所指定規則第2条もしくは第3条の養成所を修了し、保健師もしくは助産師の資格を有する者。 ・看護教員養成課程（厚生労働省、日本看護協会、都道府県など公共またはそれと同等となる機関の6ヶ月以上の研修学校）を修了した者。 ・認定看護師もしくは認定看護管理者の資格を取得した者（更新の有無は問わない）。	・小論文

博士後期課程【看護学専攻】

定員 10名

領域

基礎看護学、母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神保健看護学、地域看護学、国際・災害看護学、看護教育学、看護管理学

※8月入試で定員に達した場合は、12月以降の入試を実施しないことがあります。

アドミッション・ポリシー（抜粋）

博士後期課程では、看護学における深い学識や高度な実践能力とともに、卓越した専門性と倫理観に基づき人々の健康に貢献しうる研究を自立して行う能力をもち、世界的・学際的に看護学の発展を牽引できる看護専門職を育成することを目指しています。そのために、次のような学生を求めます。

1. 看護における現象を幅広い視点から省察し、看護学を探究できる人
2. 赤十字の理念である人道（ヒューマニティ）に共感し、高い倫理観をもち、人々の尊厳と権利を擁護できる人
3. 看護学の発展に寄与する研究に取り組むための基礎的な力を有している人
4. 世界的・学際的視野から、ものごとを探究することを志す人
5. 新規性のあるテーマや課題に挑戦する意欲を有している人

※出願資格は必ず学生募集要項にて確認してください。

※アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは大学案内や本学ホームページをご覧ください。

入試区分

	I. 対象	II. 審査方法	III. 主な出願資格
[一般]	修士の学位取得見込み者又は修士の学位を有し、看護学の研究者をめざす者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、英語・看護専門科目における学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。	博士後期課程の基本出願資格のいずれかに該当する者 ・修士の学位を有する者 ・外国において修士の学位に相当する学位を授与された者 (抜粋、見込み・予定含む)
[社会人]	看護職として3年以上の実務経験をもち、修士の学位を有し、看護学の研究者をめざす者	提出された成績証明書等により書類選考するとともに、英語・看護専門科目における学力検査、面接試験によって意欲および修了可能性について審査します。	看護職として3年以上実務経験を有し、博士後期課程の基本出願資格のいずれかに該当する者

試験科目

- ・英語
- ・看護専門科目
- ・面接
- ・書類選考

入学試験日から遡り2年以内に受験した TOEFL iBT テストにおいて、Reading、Listening、Writing、Speaking の4分野合計得点が55点以上の者については、英語の試験を免除します。ただし、出願期間終了までに TOEFL iBT テストの公式スコア（Official Score Report）が本学に到着するように手続きをしてください。

入試結果（過去3年間）

修士課程 看護学専攻

	2022年度	2021年度	2020年度
志願者数	51	33	50
受験者数	50	32	49
合格者数	31	28	29
備考	8月・12月・3月入試実施	8月・12月・3月入試実施	8月・12月・3月入試実施

修士課程 国際保健助産学専攻

	2022年度	2021年度	2020年度
志願者数	37	28	23
受験者数	37	27	22
合格者数	16	17	17
備考	学内推薦・8月・12月入試実施	学内推薦・8月・12月入試実施	8月入試実施*

*2020年度入試では学内推薦への志願者は0名のため実施ませんでした。

博士後期課程 看護学専攻

	2022年度	2021年度	2020年度
志願者数	8	14	17
受験者数	8	14	17
合格者数	5	8	8
備考	8月・12月・3月入試実施	8月・12月・3月入試実施	8月・12月・3月入試実施

Information

I. 学生募集要項・過去問題について

1. 学生募集要項

2023年度学生募集要項は、本学ホームページに順次公開します。

出願書類（願書、履歴書、封筒貼付用宛名シート等）は、本学ホームページからダウンロードし、印刷してください。

2. 過去問題

修士課程および博士後期課程の過去問題は本学図書館に限り閲覧・メモが可能です。ただし個別入学資格審査の問題は公表しておりませんのでご了承ください。

※感染予防対策のため、図書館での過去問題の閲覧を中止する場合があります。代替措置として事務局窓口で過去問題の閲覧を受け付けます（事前予約制）。また、著作権の関係から引用文は掲載していないPDF版のダウンロードの請求を本学ホームページの「過去問題（大学院）申込フォーム」で受け付けています。

※閲覧方法に関する最新情報は、本学ホームページをご覧ください。

II. 大学院説明会について（オンライン開催）

受験生の皆さんだけでなく、大学1・2・3年生、看護職の方、社会人の方、そして本大学院に関心があるすべての方のご参加をお待ちしています。

月 日	開催時間
6月 4日（土）	16：00－17：25
7月 5日（火）	18：10－19：20
10月 4日（火）	
11月 1日（火）	

※本学ホームページの申し込みフォームから事前申込をしてください。



大学院説明会

III. 研究指導教員の選択と事前相談について

1. 研究指導教員の選択

志望専攻・領域を選定後、本学ホームページで大学院の「教員一覧」を参照の上、研究指導教員を選択してください。



教員一覧

<研究指導教員とは>

研究指導教員とは、学位論文の指導を受ける教員のことをいい、その教員の指示にしたがって授業科目を履修し、研究指導を受けることになります。

※研究指導教員を選ぶことができない場合は入試・広報係までご相談ください。

2. 研究指導教員との事前相談

- ・研究指導教員にメール等で直接連絡を取り、事前相談の日程を調整してください。授業により不在の場合もありますので、できるだけメールにてお問い合わせください。
- ・本学大学院への進学を志すことを伝え、研究テーマや修学にあたっての留意事項、自身で確認したいこと等を相談してください。
- ・事前相談はWeb会議アプリ「Zoom」等を利用してオンラインで行います。
- ・事前相談終了後、研究指導教員に「事前相談報告メール」を送信してください。

※事前相談の詳細は本学ホームページおよび学生募集要項をご確認ください。



事前相談

<事前相談内容の例>

- ・大学院で学びたい研究内容やテーマと研究指導教員の専門領域が一致しているか
- ・研究指導教員の研究指導方針および方法
- ・他の教員の授業を含めた履修の全体的なイメージ
- ・在職者であれば、勤務と学業の両立の可否
- ・長期履修制度申請の希望
- ・その他、本学大学院に関わる事項

3. その他

- ・事前相談は複数の研究指導教員に行ってもかまいません。
- ・出願する際は、毎回事前相談が必要です。
- ・希望した研究指導教員と連絡が取れない場合、入試・広報係までご連絡ください。
- ・事前相談は随時受け付けていますが、出願期間締切に間に合うように余裕をもって完了してください。
- ・相談希望日時の候補をいくつかお伝えください。
- ・出願書類の記載方法や入学者選抜試験全般についての相談は入試・広報係にお問い合わせください。

学費

学生納付金は表のとおりです。入学手続き時の納入金額は、入学金の40万円です。授業料等は、毎年度所定の期日までに「一括」又は「前期と後期の分納」で納入することとなります。(参考：2022年度納入金額)

修士課程

	納入金額		納入時期
	1年次	2年次	
1 入学金	400,000円	—	入学手続き時
2 授業料	1,200,000円	1,200,000円	4月に年額を全納 または 4月10日に半額ずつ分納
3 実験実習費	150,000円	150,000円	
4 維持運営費	150,000円	150,000円	
合計	1,900,000円	1,500,000円	

長期履修制度における納付金額一覧〔修士課程看護学専攻、国際保健助産学専攻（研究コース）のみ適用〕

	納入金額			納入時期
	1年次	2年次	3年次	
1 入学金	400,000円	—	—	入学手続き時
2 授業料	830,000円	830,000円	830,000円	4月に年額を全納 または 4月10日に半額ずつ分納
3 実験実習費	100,000円	100,000円	100,000円	
4 維持運営費	100,000円	100,000円	100,000円	
合計	1,430,000円	1,030,000円	1,030,000円	

博士後期課程

	納入金額			納入時期
	1年次	2年次	3年次	
1 入学金	400,000円	—	—	入学手続き時
2 授業料	1,200,000円	1,200,000円	1,200,000円	4月に年額を全納 または 4月10日に半額ずつ分納
3 実験実習費	150,000円	150,000円	150,000円	
4 維持運営費	150,000円	150,000円	150,000円	
合計	1,900,000円	1,500,000円	1,500,000円	

大学院共通

- ・ 授業料、実験実習費、維持運営費は、年額の2分の1に分割し、前期分・後期分として納入することが可能です。
- ・ 休学が前期または後期の全期間にわたる者については、当該学期の学納金に替えて、在籍料として当該学期ごとに5万円を納入しなければなりません。なお、学期の途中で休学した場合は、当該学期の学納金は全額納入しなければなりません。
- ・ 傷害・総合保険（日本看護学校協議会共済会「Will」）は、学生の学内外における大学の正規授業や課外活動等での事故等に対応した保険です。この保険は学生全員が加入します。保険料は、年額4,500円です。なお、保険料は延納できませんので、納入期日（毎年4月末）までに納入してください。
- ・ その他、履修する科目に教科書が指定されている場合は別途教科書代が必要となります。（各自、本学生協等にて購入）
- ・ 入学辞退の申し出があった場合においても、入学金は返還しません。
- ・ 上記の学納金等は、事情により改定する場合があります。

修士課程

- ・ 長期履修制度による入学者該当：3年間で必要な単位を修得できず、4年目（最終年）も在籍することになった場合、4年目は、通常履修の1年分の学納金等（学納金150万円、保険料4,500円）を納入することとなります。

博士後期課程

- ・ 標準修業年限（3年）を超える在学者のうち、所定の単位を修得し、かつ、博士論文研究計画書審査に合格している者は、学納金については、年額50万円の授業料のみの納入となります。

奨学金制度

奨学金は、経済的理由により修学困難な学生に学業継続を援助するための制度です。奨学金の種類によっては併用できないものもあります。

奨学生の募集、申請の時期、必要な提出書類等については入学後に説明をします。本学で扱う主な奨学金制度は下記のとおりです。なお、奨学金の詳細は、本学ホームページをご確認ください。

受給状況（2021年度）

	大学院
伊藤・有馬記念基金奨学金	3人
松下清子記念教育・研究及び奨学金	17人
日本学生支援機構	11人
東京都看護師等修学資金	17人
その他（財団等）	9人

伊藤・有馬記念基金奨学金（給付）

学納金の負担軽減を目的とした本学独自の奨学金制度で、年度ごとに申請でき経済状況により選考されます。

種類	給付（年額）
学生奨学金	20万円以内
学生外国留学奨励金	10万円以内

大獄康子記念奨学金（給付）

学納金の負担軽減を目的とした本学独自の奨学金制度で、経済的理由のため修学が困難な学生に給付されます（20万円以内）。年度ごとに申請できます。

松下清子記念教育・研究及び奨学金（給付）

学納金の負担軽減を目的とした本学独自の奨学金制度で、経済的理由により修学困難な学生に給付されます（15万円以内）。年度ごとに申請できます。

松下清子記念奨学金（海外研修・国際交流支援）

海外研修・国際交流等に参加する者のうち、経済的理由により自費での参加が困難な学生に給付されます（20万円以内）。年度ごとに申請できます。

日本学生支援機構（貸与）

学業成績及び家庭の経済状況（収入基準あり）により、学内の「奨学生選考基準」に従い推薦します。原則毎年4月～5月に募集し、推薦者を大学でとりまとめて申請をしています。

(1) 奨学生の種類及び貸与金額

種類	給付（年額）
①第一種（無利子）	5万円もしくは88,000円（修士） 8万円もしくは122,000円（博士）
②第二種（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円 のうち希望額を選択 ※在学中は無利子

(2) その他

失職・災害等による家計急変の場合には緊急採用、応用採用もあります。

東京都看護師等修学資金（貸与）

東京都看護師等修学資金は、看護師等養成施設等に在学し、将来都内で看護業務に従事する意思がある方に対し、修学資金を貸与（貸付）することにより修学を容易にし、都内の看護職員の確保等を図ることを目的とした制度です。

(1) 貸与月額

25,000円、50,000円、75,000円、100,000円

※いずれか1つ

(2) 返還免除

免除要件を満たした場合は、申請により貸与を受けた修学資金の返還額の全部又は一部の免除が受けられます。

詳細は、東京都看護師等修学資金のホームページ等をご参照ください。

その他の奨学金

学校法人日本赤十字学園大規模災害被災学生奨学費 [適用災害につき1回限り] ……授業料減免措置
(半期授業料上限)

一般財団法人日本赤十字社看護師同会奨学資金（貸与） ……大学院：一時金として100万円以内

日本赤十字看護大学同窓会奨学金（貸与） [在学中一回限り] ……50万円

各道府県看護師等修学資金（東京都看護師等修学資金とは併用不可） ……詳細は各道府県ホームページを参照

木村教育振興財団専門看護師（CNS）奨学助成（修士2年対象専門看護師） ……年額60万円

国際看護師協会東京大会記念奨学金（貸与） ……詳細は日本看護協会のホームページを参照

Q&A

大学院説明会等で、よく聞かれる内容をここに紹介します。

出願について

Q. 大学院の受験を検討しているのですが、何から始めればいいのか教えてください。

A. まず大学院案内や本学ホームページ等で関心のある課程・専攻・領域のページを読み、担当教員の研究業績やプロフィールなどを調べ、自分の学びたいこと・研究していきたいことが出来そうかを確認してください。その上でメール等で教員に連絡をとり、事前相談のアポイントをとってください。じっくり話し合ってから、受験するかどうかを決めることをお勧めします。

大学院の概要や制度についてより詳しく知っていただくには、受験を検討する過程で「大学院説明会」に参加することをお勧めします。

Q. 出願までの流れを教えてください。

A. 出願前に、必ず受験を希望する専門領域の指導教員との事前相談をお願いしています。出願を希望する専門領域を決定した後、その領域の指導教員にメール等で連絡を取り、事前相談の日を設定してください。連絡先は本学ホームページの教員一覧からご覧いただけます。事前相談終了後、出願前に、出願する領域の研究指導教員から署名または捺印を受けた「事前相談報告票」を入試・広報係に提出してください。不明な点は入試・広報係（TEL：03-3409-0950）までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症対応のため、オンラインによる事前相談を実施しています。6ページをご参照ください。

Q. 学生募集要項の入手方法を教えてください。

A. 本学ホームページに、学生募集要項および出願書類を掲載しますので、本学ホームページから入手してください。

Q. 看護大学を卒業していなくても大学院の修士課程を受験できますか？

A. 看護系以外の大学ご出身でも、学士の学位を取得していれば出願資格に該当します。また、看護系の短期大学や専門学校を卒業され、一定の条件を満たし大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合には、受験が可能です。

それらに該当しない場合も、看護系の学校を卒業されていて看護師の資格を持ち、5年以上の実務経験がある場合には「個別入学資格審査」を受けて出願資格を得ることができます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

Q. 日本の大学に在学中の留学生ですが、「外国人入試」はありますか？

A. 「外国人入試」はありません。

入試について

Q. 筆記試験はどのような形式ですか？

A. 看護専門科目では、出願された領域に関する問題が出題されます。修士課程看護学専攻では、設問に全領域共通の問題も設けています。科目については各入試の概要を確認してください。

Q. 大学院入試の過去問題は入手できますか？

A. 大学内で閲覧・メモが可能です。新型コロナウイルス感染拡大状況により変更の可能性もあります。詳しくは5ページをご参照ください。また、最新の情報は本学ホームページの案内を確認してください。

進路・奨学金について

Q. 現在大学の4年生です。卒業後すぐに大学院に進学することは可能ですか？

A. 修士課程国際保健助産学専攻の実践コースでは、助産師資格の取得を目指す方を募集していますので、例年大学卒業見込で受験される方が一定数います。一方、修士課程看護学専攻および国際保健助産学専攻の研究コースでは実践を重視した研究活動と専門看護職者の養成を行っています。大学卒業見込みでも受験は可能ですが、ゼミでも実践経験に基づく看護の現象や問題が具体的に論じられることが多いため、大学を卒業後まずは臨床経験を積むことをお勧めします。その方が、より充実した大学院生活となると思います。なお、看護学専攻の看護教育学・看護管理学の実践コースの受験には、出願資格として5年以上の実務経験が必要となります。

Q. 大学院を修了された方は、どのような仕事についているのですか？

A. 修士課程を修了された方の中には、大学院で学んだことをもとに看護実践の場に戻ってより高度な看護を提供する専門看護職者として勤務する方、大学などの教員となり教育・研究者となる方、さらに博士後期課程に進学する方などがいます。

博士後期課程の場合は、修了後に教育・研究者となる方が多いですが、病院で専門看護師として働く方もいます。

Q. 修士課程修了後、日本看護協会に専門看護師の認定申請ができる専門分野を教えてください。

A. 本学では、がん看護・小児看護・慢性看護・クリティカルケア看護・老年看護・精神看護・在宅看護・災害看護の8分野が38単位の専門看護師教育課程として認定されています。

Q. 大学院で奨学金を受けたいのですが、どんな制度がありますか？

A. 奨学金には貸与型と給付型があります。種類については8ページを参照し、貸与型の場合は返還についてよく検討した上で申し込んでください。入学後、4月のガイダンスで必要書類や申し込み方法等の詳細について資料を配付しています。

入学前に奨学金について詳しく知りたい場合は、大学院説明会などにお越しください。

なお、本学ホームページにて、「大学院ファイナンシャル・プラン」として、情報を集約しているのでご参照ください。

仕事と学業の両立について

Q. 働きながら大学院修士課程で学びたいのですが、可能でしょうか？

A. 修士課程では2年間のうちに講義・演習・実習の単位を取得し、修士論文をまとめる必要があります。特に最初の1年間は、履修により固定のスケジュールになることが多いです。そこで修士課程では、長期履修制度を取り入れています（国際保健助産学専攻の「実践コース」では申請できません）。勤務・介護・育児等により2年で教育課程を修了することが困難と思われる学生を対象に、履修期間を3年とする申請ができる制度です。入学前に申請が必要で、より計画的な履修が必要となるため、希望者は出願前に指導教員にご相談ください。入学後の変更については、1年次に1回のみ2年間への短縮を許可しています。

Q. 働きながら大学院博士後期課程で学びたいのですが、可能でしょうか？

A. 博士後期課程では仕事と学業を両立する学生が多いですが、仕事と研究の両立は厳しい面もあり、とくに学位論文を執筆するには集中した時間が必要となります。また、研究指導を受ける際、指導教員との予定調整にも負担がかかる可能性があることを考慮してください。

不安な点は、入学前に事前相談でしっかり話し合っておくことをお勧めします。優先順位を決め、奨学金も有効に活用しながら学修計画を立ててください。

TA・RA制度について

Q. ティーチング・アシスタント（TA）制度について教えてください。

A. 大学院生の皆さんに、実践的トレーニングの機会を提供する制度です。学業の妨げにならない範囲で、担当教授の指導・助言のもとに学部生に対する実習・演習等の教育補助業務を行います。報酬を支給し、経済的に支援しています。

Q. リサーチ・アシスタント（RA）制度について教えてください。

A. 本学における研究活動の効果的推進、研究体制の充実及び若手研究者の研究遂行能力を育成することを目的とした制度です。RAは本学において実施されるプロジェクト等に参画し、必要な研究補助を行います。TA同様、報酬を支給します。



広尾キャンパス

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

- 各路線渋谷駅から都営バス(学03)「日赤医療センター前」行 終点下車
- 各路線恵比寿駅から都営バス(学06)「日赤医療センター前」行 終点下車
- 東京メトロ日比谷線広尾駅から徒歩約15分

お問い合わせ

日本赤十字看護大学（広尾キャンパス）入試・広報係
電話：03(3409)0950

koho@redcross.ac.jp(大学院説明会、オープンキャンパス等)
nyushi@redcross.ac.jp(入試関係)

大学窓口取扱期間 平日／ 9:00～17:00(土、日、祝日は休業)